

会報



第6号
2010.12.1

『親子で体験！サイエンス・テクノロジー展を開催』

岐阜高専は、岐阜高専地域連携協力会の協賛を得て、11月21日に岐阜市科学館において本校及び岐阜市科学館の主催による「親子で体験！サイエンス・テクノロジー展」を開催しました。

本校では地域社会の発展に貢献するため、地域と連携して学生の教育活動(ものづくりリテラシー教育実習)を行っており、その活動の一環として、学生が企画した工作教室や展示を行いました。

このイベントは、学生が企画した工作教室や作品展示を行うもので、平成20年度から開催されており今回で3回目となります。

実際にもものづくりを経験できる4種類の工作教室には、定員を超える多くの応募があり抽選で選ばれた小学生が、本校学生の指導により科学知識と関連したものづくりの楽しさを学びました。当日は小・中学生及び保護者等約600人の入場者があり、工作教室の他に設けられた高専各専門学科の体験や実験の各ブースにも多くの子供達が訪れていました。

子供達や保護者のアンケートでは、「配付されたテキストが今後の自由研究等に役に立つ」、「学生の一生懸命な指導が良かった」等の意見がありました。

- 出展内容は右のとおりです。
- | | |
|-------------------|-----------------|
| ①ソーラーミニ行灯を作ろう | ⑥自転車発電と仕組み |
| ②風のパワーで電気をつくろう | ⑦光ファイバーの仕組みを知ろう |
| ③光通信してみよう～光から音楽へ～ | ⑧地震に備えて安全・安心 |
| ④ホバークラフト（風のパワー） | ⑨地雷探査ロボットの体験 |
| ⑤水力発電の仕組み | |



工作教室「ソーラーミニ行灯を作ろう」の様子



工作教室「風のパワーで電気をつくろう」の様子

目次

- 岐阜高専産学官連携アドバイザー紹介 2
- ものづくり技能振興事業・中核人材育成塾 4
- 平成23年度事業計画 5
- 平成22年度技術相談 5
- 岐阜高専TOPICS 6
- 岐阜高専シーズ紹介 8
- 協力会会員一覧 11
- 東濃信用金庫と産学連携協定を締結 12
- 会員募集 12

岐阜 岐阜高専産学官連携 アドバイザー紹介

岐阜工業高等専門学校
地域技術開発・教育センター
センター長 所 哲郎

本校では、岐阜高専地域連携協力会会員の皆様と本校との連携窓口を充実することを目的に、杉山コーディネーターに加え、本年度から岐阜高専産学官連携アドバイザー8名を配置しました。

産学官連携アドバイザーは、本校に在職した教育職員及び卒業生のうちから産学官連携活動に関し知識と実績を有する人材を、主事（副校長）及び学科長の推薦に基づき、校長が選考して委嘱し、本校の産学官連携活動の推進を図っていきます。

産学官連携アドバイザーは、会員からの技術相談をはじめ企業の現地調査や岐阜高専への要望をお聞きするなど、本協力会の発展に寄与することを旨し幅広く対応しますので、お気軽にお声掛けいただきますようここにご紹介いたします。

（五十音順）



電気工学科卒業
第1期生
大野 幸一

このたび岐阜工業高等専門学校産学官連携アドバイザー就任にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

私は、本校を卒業後日本ビクターに就職、その後ソニーに転職し、海外勤務も含めて30年勤務し、2002年に「ものづくりコンサルタント」として独立しました。アドバイザーとしてご支援できる内容は、原価低減、生産現場改善、購買業務改善、人材育成支援、工場マネジメントなどです。

また、趣味として株式投資や海外視察を40年続けており、この分野でのご相談にも対応したいと考えております。



電気工学科卒業
第2期生
奥野 泉

このたび岐阜工業高等専門学校産学官連携アドバイザーを拝命賜りました奥野です。一言ご挨拶を申し上げます。

私は、本校を卒業後NECに就職し、無線通信システム設計業務を経験し、岐阜高専20年史にて述べました家庭の事情で営業畑に転向、その後系列会社の中部支店長として支店立上げと業容拡大に努めました。

専門分野は、情報通信システムの企画・設計・建設・保全に係わる分野です。

アドバイザーとして活躍できると考えている分野は、通信・電気・防災分野の経営・技術相談、業務改善、人材育成等を支援させていただきます。

又、定年後趣味と実益を兼ね自然農を始めました。昨年古代米（赤米）を実験栽培し無肥料・無農薬にて「種の保存力、1粒1052倍」を実測しました。



名誉教授 工学博士
北川 恵一
（電気情報工学科）

このたび岐阜工業高等専門学校産学官連携アドバイザー就任にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

私は岐阜高専の創設期から40年間教員として務めていました。その後も非常勤として、フェローとして、学生の指導や教員の授業評価などをしていきます。また実質11年6ヵ月の間岐阜大学の非常勤講師として、大学生にも教えていました。

教えていた科目も、高専と大学を合わせますと電気回路や電気磁気学などの基礎科目から送電工学や高電圧工学さらに機械工学・化学・物理学に

近い応用科目まで幅広く担当していました。

現在電気学会の終身会員・上級会員であり、電気学会プロフェッショナルにも認定されています。この組織は企業の技術支援・講習会や小学校の理科教育から大学の専門教育までの幅広い支援をしている組織です。

専門は電気絶縁材料ですがアドバイザーとしてお手伝いできると考えられる分野は電気に関する教育全般や企業の人材育成、技術相談、生産技術・管理など現場に直結したことにも対応できると思います。また小・中学生などの理科教育支援や教員の実験指導・講習などもできると思います。



機械工学科卒業
第 1 期生
桑 原 喜代和

このたび岐阜工業高等専門学校産学官連携アドバイザー就任にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

私は、本校を卒業後、オークマ株式会社に就職し、工作機械製造の生産技術と生産管理や情報システムの業務に従事すると共に、加工と組立の自動化、ERP（全社の生産管理システム）の導入、等のプロジェクトの責任者として製造の改善、改革及び生産管理システムの革新に携わりました。

専門分野は、生産技術、生産管理と情報システムです。

アドバイザーとして活躍できると考えている分野は、加工・組立についての製造の技術、管理から情報システムまで、製造の全般にわたって支援させていただきます。

また、中国・北京での合併会社の立ち上げのための3年間の駐在経験や台湾の友人を通じての台湾企業への改善指導の経験があり、中国、台湾に関するご相談にも対応したいと考えております。



名誉教授 博士（工学）
島 崎 磐
（環境都市工学科）

このたび岐阜工業高等専門学校産学官連携アドバイザー就任にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

私は、本校に38年間教員として務め、建設材料、コンクリート工学の授業を担当するとともに、創設以来「水泳部」の顧問として学生の教育に携わってきました。

専門分野は「環境負荷を低減する新材料の性能を評価する」ことです。退職直前の数年間は、科学技術相談室での産学官連携に関する職務を果たし、また退職後のこの5年間は、機縁により日越をほぼ毎月往復してベトナム国の企業や大学との交流を深めることができました。

現在も、環境工学等の学会に所属し、最新の技術研究の状況の習得に努力しております。

アドバイザーとして活躍できると考えています分野は、技術相談、新材料の改善と施工、人材育成支援を担当させていただきます。

また、趣味として競泳を長年続けており、仕事以外にもサプリメント的な事柄のご相談にも対応をしていきたいと考えております。



土木工学科卒業
第 1 期生
高 崎 豊

このたび母校の産学官連携アドバイザー就任にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

私は、昭和43年3月卒業後、岐阜県職員となり38年間岐阜県の土木建設行政に携わり、平成18年3月退職しました。その後、岐阜県都市整備協会の役員を務めさせていただき本年3月末で退任し、4月からは建設コンサルタント会社に再就職

いたしました。

平成19年8月末、学校側のご指導と卒業生有志の協力により「岐阜高専建設技術士有志会」が設立され、会長に就任したことによりまして、今回のアドバイザーにもご推薦いただきました。

国家資格である技術士（建設部門道路）を平成14年に取得し、平成16年には近年創設されました総合技術監理部門にも合格できました。

アドバイザーとして活躍できることは、これまでの行政経験等を通して（岐阜高専を如何にPRできるか）の視点に立ち、地域連携協力会の特別会員である県、市町への情報提供、連絡調整等に尽力したいと考えております。又、できれば具体的な技術支援や人材育成支援等にも微力ながらお役に立ちたいと思いますので宜しくお願いします。



電気工学科卒業
第1期生
高津正吉

このたび岐阜工業高等専門学校産学官連携アドバイザーを拝命し、自己紹介方々一言ご挨拶申し上げます。

私は本校を1968年（昭和43年）3月卒業後、オークマ株式会社に就職し現在に至っております。入社後から工作機械の「主軸モータ」とその「制御装置」の開発・商品化業務を約15年間担った後、米国工場で働く機会に恵まれ、工作機械用電装品の現地化設計・部品の現地調達・生産管理業務他に足かけ7年携わってきました。また、其処では米国の仲間と生産設備の導入、設計・生産要員の採用とトレーニング、協力工場の開拓・立ち上げ、作業改善等の当事者として工場マネジメントも学んで来ました。

このような実体験を活かしながら、アドバイザーとして「モノ造り人材」の育成支援はじめ「作業改善」支援、「技術相談」に取り組んでいければこれ以上の喜びはありません。よろしく願い申し上げます。



名誉教授 工学博士
橋浦正史
(機械工学科)

産学官連携アドバイザーをお引き受けすることになりました。

自己紹介と、さらに相談依頼をお願いいたします。

38年間に渡る岐阜高専在職中は、機械材料、特に金属材料学を担当しておりました。

研究分野としましては、熱処理、鑄造（凝固現象、組織解析、ミクロポア）です。

人材育成としては次の事業の経験があります。

経済産業省産学連携事業（鑄造現場の中核人材育成プロジェクト、H18～H19年度、運営委員・講師他）、経済産業省高専活用中小企業人材育成（岐阜県の金型・精密機械加工関連の若手技術者育成事業、H18～H20年度、コーディネーター、講師他）などの事業です。

現在も中部ポリテクセンターにおいて、「金属熱処理技術と材料選定の実務」のセミナー講師を担当しております。

金属材料セミナーの開催、熱処理あるいは鑄造に係る問題、日本鑄造工学会への論文投稿支援についてご相談ください。

ものづくり技能振興事業・ 中核人材育成塾

岐阜高専は、10月14日に同校の地域技術開発・教育センターものづくりデザイン・セミナールームにおいて、岐阜県の委託事業「ものづくり技能振興事業・中核人材育成塾」を開講した。

中核人材育成塾は、中小企業でのものづくり現場リーダーとして、人の配置等を含む生産の管理、合理化、監督業務を担当できる中核人材の育成を目的とした研修で、ものづくりについての豊富な経験や知識を有する岐阜高専産学官連携アドバイザー（岐阜高専OB）が講師を務めています。

研修は、「見える管理で理想の工場づくり」、「実践QC 7つ道具」、「現場管理者のためのコストダウン活動」、「リーダーのための経理知識」の4テーマで来年1月まで毎月1回開講されます。

参加者は、岐阜高専地域連携協力会会員企業を含め、募集定員20社（20名）を大幅に超える30社から申し込みがあり、第1回目の「見える管理で理想の工場づくり」には聴講生も含めて37名が受講しました。

受講生は、第1回目の研修に同席していた他の講師と昼食を共にしたり、研修終了後も個別に懇談して有意義な研修となりました。

また、受講生が現場に戻ってから研修で習得した知識を発揮できるように、希望する企業へフ

ローアップとして研修担当講師による逆スクリーニングを行うことになっております。

来年度以降も実施予定ですのでご参加下さい。



「見える管理で理想の工場づくり」研修の様子

事業計画

岐阜高専地域連携協力会 平成23年度（H22.12～H23.11）事業計画

年月	運 営	事業(共催事業含む)	会 報
H22年 12月		第4回岐阜高専地域連携協力会総会、交流会	会報(第6号)発行
H23年 1月			
2月	第10回運営委員会	共同研究の募集	
3月		第6回岐阜高専ラボ・ディスカバリー、交流会	
4月	第11回運営委員会	第3回講演会 人材育成事業(MEDCA)前期	
5月		インターンシップ募集	
6月			会報(第7号)発行
7月		インターンシップ実施	
8月	第12回運営委員会		
9月			
10月		人材育成事業(MEDCA)後期	
11月	第4回役員会	サイエンス・テクノロジー展(岐阜市教育委員会及び岐阜高専と共催)	
12月		第20回岐阜高専産官学交流懇談会テクノシンポジウム(岐阜高専と共催)	会報(第8号)発行

【上記以外の活動】

- ・企業見学会（随時）
- ・技術相談（随時）
- ・補助金事業説明会
- ・企業データベースの構築
- ・サテライトキャンパスでの広報活動

技術相談

技術相談件数

平成21年度 55件
平成22年度 23件(H22.11.1現在)

共同研究受入件数

平成21年度 23件
金額 12,080 千円
平成22年度 20件(H22.11.1現在)
金額 9,319 千円

【相談窓口】 お気楽にご相談下さい。

岐阜高専 杉山コーディネーター
tel. 058-320-1245 fax. 058-320-1220
e-mail. sugiyama@gifu-nct.ac.jp

岐 阜高専TOPICS

●電子制御工学科5年 企業見学会を実施

岐阜高専電子制御工学科では、教育目標である創造的な技術改良・技術開発ができる能力を身につけさせることを目的に工場見学を実施しており、このたび、電子制御工学科5年が6月18日に本巣市のレシップ株式会社を見学しました。

レシップ株式会社は、バス・自動車関連事業をはじめ、サイン&ディスプレイ関連事業、鉄道関連事業、産業機器関連事業、電子部品事業を幅広く展開されており、中でもバス用運賃箱の国内シェアは約47%で業界首位の地位を占めています。

今回は学生及び教員の計33人が参加し、本会議室において会社概要・事業内容等の説明及び本社工場においてバス用運賃箱の組立&検査工程等を見学しました。

当校の卒業生である2名の先輩（E科H18年度卒、D科H21年度卒）が、「それぞれの持ち場で頑張っている」との説明に参加した学生から称賛の声が上がっていました。



会社概要・事業内容等説明の様子

●平成22年度組込み系デジタルシステム設計技術者育成プログラム開講式を開催

5月22日（土）に、平成22年度組込み系デジタルシステム設計技術者育成のための開講式を、電子制御工学科棟4F情報処理演習室において行いました。本プログラムは、e-ラーニング教材と貸し出し用のFPGAボードを使って自宅にいなが

ら実習を通して、デジタルハードウェアシステムの基礎から応用までを実践的に学んでいける講座です。本育成プログラムが始まってから今年で3年目を迎え、学習用e-ラーニング教材や公開講座で使うハードウェアも充実してきました。当日の開講式には、遠く九州からの参加者もあり、総勢16人の社会人の方が参加をされました。社会人の受講生に混じって、研究室でFPGAを用いた回路設計が必要となる専攻科生も1名参加しています。当日は、開講式に臼井研究主事（副校長）から本講座開講のご挨拶を頂き、その後で福永准教授により、本組込み系デジタルシステム設計技術者育成プログラムの概要説明および、e-ラーニング受講生登録、e-ラーニングシステムの使い方の講習、FPGA（Field Programmable Gate Array：現場で書き換え可能な半導体デバイス）ボードの概要説明と動作チェックなどが行われました。受講生は、自宅などで本講座をe-ラーニングでしっかりと学んだ後に、今年12月から1月にかけて実施予定の公開講座（スクーリング）に参加することになっています。

本組込み系デジタルシステム設計技術者育成プログラムは、平成23年度も社会人向けの公開講座として、地域連携協力会の協賛の下で開講を予定しています。



福永准教授による導入教育の様子

●ものづくり支援ソフトDEXCS講習会を開催

岐阜高専は、7月2日にもものづくり支援ソフトDEXCS講習会（岐阜高専地域連携協力会協力事

業)を開催しました。

DEXCSは、建築学科柴田研究室とものづくり企業との共同研究により開発されたCAEソフトで、インターネットに無償で公開されています。

この講習会は、初めてDEXCSを利用する方を対象に実施され、地域連携協力会会員を含む10名が参加しました。

参加者各自が持参したノートパソコンにDEXCSをインストールして、弾性解析の基本手順の実習を行い、続いて、実際に機械部品の弾塑性解析の体験を行いました。



弾性解析基本手順実習の様子

●Make : Ogaki Meetingに出展

東海・北陸地区国立高専は、9月25日、26日の両日にソフトピアジャパン(大垣市)で開催された「Make : Ogaki Meeting」に同高専ブースを設けて、各高専のパネル展示及びものづくり体験を実施しました。

このイベントは、中部圏でものづくりを行っている企業等の新たなネットワークを構築するために、IAMAS(岐阜県立情報科学芸術大学院大学/国際情報科学芸術アカデミー)と(株)オライリー・ジャパンを初めとした岐阜高専を含むメンバーの連携のもと、東京以外の地区で初めて開催されました。

岐阜高専からは、電子制御工学科臼井教授と小林講師による「地雷探査ロボット」の紹介が、ロボット操作の体験を交えて行われました。

また、建築学科柴田准教授が株式会社佐合木材と共同開発した「避難用仮設テント(オクタゴン)」

も3棟展示され、多様な活用について説明が行われました。



岐阜高専学生が探査ロボットの説明をする様子

●アイデア対決・全国高等専門学校ロボットコンテスト2010

【東海北陸地区大会の結果】

東海北陸地区の大会が10月3日(日)に「スカイホール豊田・メインアリーナ」で開催され、岐阜高専Bチーム製作ロボットAccelが平成22年11月21日(日)に「両国国技館」で開催される全国大会への出場権を獲得しました。

受賞結果は次のとおりです。

岐阜高専A(Ray × Run) : 準優勝

岐阜高専B(Accel) : 技術賞・全国大会出場

【全国大会の結果】

平成22年11月21日(日)に東京・両国国技館において、岐阜高専(Accel)が技術賞と特別賞を受賞しました。

全国大会のテレビ放映 :

NHK総合12月4日(土)午後11:00~



全国大会の様子



一 紹介

専門基礎

応用数学研究室 准教授 森口博文 博士 (理学)

tel.058-320-1321 fax.058-320-1321 e-mail : moriguti@gifu-nct.ac.jp



■キーワード

カオス、ソリトン、シミュレーション

■現在の主な研究テーマ

1. 物理系方程式の数値・数式解
2. 応用数学 (偏微分方程式等) 授業法

■技術相談分野

数値計算、Mathematica、Linux (Ubuntu)

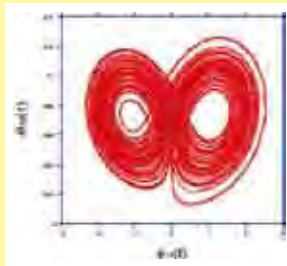


図2 別のパラメータでは、不規則な時間的振動が観測され、位相空間上に力学系理論で有名な軌道が現れる。

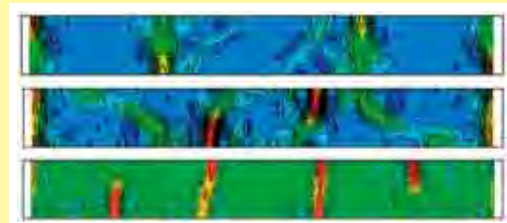


図1 磁気を帯びた流体の温度勾配によるベナール対流を表す偏微分方程式系の数値計算をしたところ、適当なパラメータに対して、時間の経過につれて、磁束が集中する構造形成の様子を表している。縮約理論によりこの式を基に得られる簡約なソリトン方程式の一種から解釈が研究されている。

機械工学科

機械設計 研究室 准教授 山村基久 修士 (工学)

tel.058-320-1345 fax.058-320-1349 e-mail : yamamura@gifu-nct.ac.jp



■キーワード

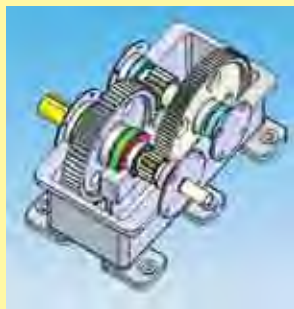
設計法・3D-CAD・設計製図・からくり

■現在の主な研究テーマ

1. 3DCADを利用した設計・製図・教育に関する研究
2. からくり・オートマタに関する研究

■技術相談分野

Solidworksによる三次元設計



歯車減速機



小形コンプレッサ

電気情報工学科

電子物性研究室 准教授 羽瀨仁恵 博士 (工学)

tel.058-320-1355 fax.058-320-1263 e-mail : lhabuchi@gifu-nct.ac.jp



■キーワード

窒化炭素、シリコンクラスレート、理科教育、地域貢献 (CSR)

■現在の主な研究テーマ

1. マイクロ波プラズマCVDによる窒化炭素薄膜の合成
2. シリコンクラスレート薄膜の合成
3. 理科教室を中心としたアウトリーチ活動とその効果

■技術相談分野

薄膜の光特性に関する分野、電子回路に関する分野、理科教材に関する分野



▲マイクロ波プラズマCVD装置。窒化炭素などのカーボン系膜を成膜できます。



▲光熱偏向分光システム。半導体薄膜の微弱な光吸収を測定できます。



▲研究室で開発した理科教材、レーウェンフック顕微鏡 (国立科学博物館で使用)

電子制御工学科

森 研究室 准教授 森 貴彦 博士 (工学)

tel.058-320-1374 fax.058-320-1389 e-mail : mori@gifu-nct.ac.jp



■キーワード

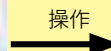
制御工学、システム制御、振動制御、操作支援、教育教材

■現在の主な研究テーマ

1. パワーアシスト搬送を考慮した柔軟構造物の操作支援システムの開発
2. 柔軟アームの受動性に関する研究
3. 電子機能ブロックの開発



マスタ環境



スレーブ環境

■技術相談分野

高付加価値極限技術、高精度技術
柔軟構造物の安定性
教育教材

電子機能ブロック

■セールスポイント

研究テーマ1は、人間と機械が共存・共栄するような人間機械協調システムの分野も対応できます。
研究テーマ2は、人間がマイクロな世界の機械を操作するようなマクロマイクロの分野も対応できます。
研究テーマ3は、人間とメカトロを身近に感じられるような低学年向けの教育分野に対応できます。

環境都市工学科

鈴木正人 研究室 教授 鈴木正人 工学博士

tel.058-320-1397 fax.058-320-1409 e-mail : suzumasa@gifu-nct.ac.jp



■キーワード

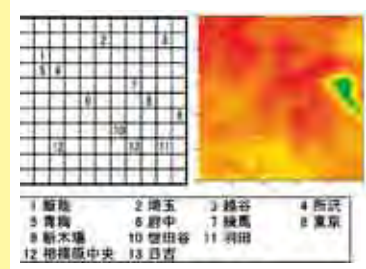
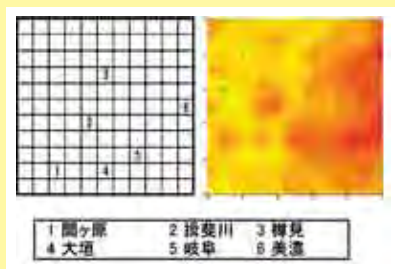
気象データ、統計解析、気候変動の検証

■現在の主な研究テーマ

1. 降雨の時空間分布特性の経年変化を検証する手法の提案と適用
2. 温暖化現象の再検証（気温は年々上昇し続けているのかを検証する）

■技術相談分野

統計解析一般、気象データの取り扱い



8月において雨が時間的に集中している度合いの分布状況（赤いほど集中している）。岐阜（左図）に比べて東京（右図）の方が時間的に集中した雨が多いことがわかる。

建築学科

構造解析学研究室 准教授 柴田良一 博士（工学）

tel.058-320-1417 fax.058-320-1429 e-mail : ryos@gifu-nct.ac.jp



■キーワード

建築構造解析、大規模数値解析、CAE、クラウド、グリッド

■現在の主な研究テーマ

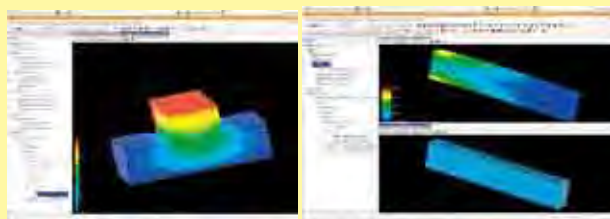
1. 大規模並列有限要素法を用いた建築骨組の数値解析的研究
2. 段ボール製避難用仮設住宅のOpenFOAMを用いた仮想風洞解析
3. GPGPUを用いた大規模並列システムの開発における基礎的検討

■技術相談分野

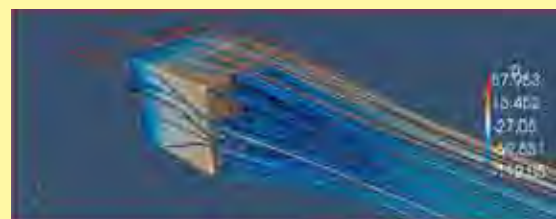
ものづくりにおけるCAE活用、大規模数値解析システムの構築
構造解析や流体解析などのオープンCAE活用に関する共同開発



大規模並列CAEシステム



オープンCAEによる構造解析の例



オープンCAEによる流体解析の例

岐阜高専地域連携協定会会員一覧（五十音順）

企業会員(219会員)

アーボ株式会社
株式会社愛岐通信
アイコクアルファ株式会社
有限会社青木エーエルシー企画
株式会社青山製材所
株式会社浅井精密
浅川建設株式会社
旭建設株式会社
朝日設備工業株式会社
アサヒフオーシ株式会社
株式会社アステス
アピ株式会社
株式会社天木鉄工
株式会社アルテック
有限会社安藤建設
石井養殖
有限会社石原建具製作所
株式会社市川工務店
一級建築士事務所I.N.O
株式会社一光開発
井納建設株式会社
社会福祉法人 井ノ口会
揖斐印刷所
揖斐川工業株式会社
有限会社上田製パン
植村熔接工業所
株式会社鶴飼組
株式会社烏骨鶏本舗
株式会社エヌティティネオメイト東海支店
大垣愛陸運送株式会社
大垣瓦斯株式会社
株式会社大垣共立銀行
大垣信用金庫
大垣精工株式会社
オークマ株式会社
有限会社オートサービスイトウ
有限会社岡田鉄工所
有限会社小川自動車興業
株式会社尾関ホットランナープラン
有限会社折戸建設
株式会社オンダ製作所
株式会社カテック
加藤繊維
甲重機
株式会社川口組
河口建設
株式会社川口タオルサービス
カワクボ電気工事
川重岐阜エンジニアリング株式会社
有限会社川富建材
貴動建設株式会社
岐阜IT協同組合
株式会社岐阜イエローハット
岐阜ギヤー工業株式会社
岐阜県金型工業組合
岐阜工業株式会社
岐阜産研工業株式会社
岐阜車体工業株式会社
岐阜信用金庫
株式会社岐阜西武不動産
株式会社岐阜造園
株式会社岐阜多田精機
岐阜西運送株式会社
共栄工業株式会社
郡上鋪道株式会社
有限会社国枝工業
国枝設備

株式会社久保田工務店
栗田産業有限会社
株式会社栗山組
株式会社グルーヴシステムズ
有限会社黒川工務店
株式会社黒田製作所
K-SystemNetwork
KYB株式会社
有限会社KENSHO
株式会社コーネット
有限会社小寺鉄工所
後藤浩之(代表者)
小牧木材株式会社
坂本硝子株式会社
株式会社桜井グラフィックシステムズ
株式会社佐合木材
サシヒロ株式会社
論不動産株式会社
三建塗装工業株式会社
三光化学工業株式会社
株式会社三進
サンメッセ株式会社
三和建設工業株式会社
株式会社十六銀行
有限会社ジョイントアップ
昭和びりんと
白木建設株式会社
株式会社伸栄土木
杉山建設株式会社
杉山土地開発
株式会社スギヤマメカレトコ
株式会社鈴籠
株式会社成建
西濃金属株式会社
西濃建設株式会社
西濃信用金庫
有限会社瀬川園
関信用金庫
創建設計株式会社
ソニーイーエムシーエス株式会社美濃加茂テック
株式会社第一インテリア
大東株式会社
太平洋工業株式会社
株式会社大豊建材
タイムオートマシン株式会社
太陽工業株式会社
太陽電機工業株式会社
株式会社タウン
株式会社タカイコーポレーション
高橋建設株式会社
高山信用金庫
株式会社宝機材
株式会社瀧川建設
竹田設計工業株式会社
田中建設工業株式会社
田中工業株式会社
田中造園土木
株式会社谷汲砕石
樽久有限会社
株式会社地域コンサルタント
株式会社チエックハウス
中央木材株式会社
中京実業株式会社
中京ヒューム管株式会社
株式会社TYK
株式会社テムシステム
株式会社電算システム
天龍工業株式会社

株式会社トゥステップ
東海石材工業株式会社
株式会社東海パウデックス
東海理研株式会社
東海ローレル株式会社
東濃信用金庫
株式会社東洋スタビ
株式会社TOHOTEC
トキワ精工
徳田工業株式会社
株式会社トミタ
株式会社トヨタケララム
トヨタテクニカルデバイスロップメント株式会社
直三工業有限会社
長澤木工製作所
株式会社中島工務店
株式会社ナガセインテグレーション
有限会社中徳造園土木
中日本技工株式会社
ナガラ金属株式会社
有限会社ニシカワ
株式会社日榮商事
有限会社日テム
株式会社日商
日東工業株式会社
日本工業株式会社
日本システム開発株式会社
日本襖工業株式会社
有限会社根尾開発
根尾ゴム工業所
有限会社根尾自動車工業
有限会社ネクステージ
ノアハウス株式会社
有限会社橋本組
八幡信用金庫
林輝工業株式会社
株式会社光製作所
株式会社樋口製作所
株式会社ブイ・アール・テクノセンター
BUZZ
株式会社深見製作所
福田設備工業株式会社
株式会社フレックラム
株式会社北誠商事
北斗株式会社
有限会社細野建設
株式会社堀部工務店
堀伊木材株式会社
株式会社マーク
有限会社松田刺繍
有限会社マブチ産業
有限会社丸島工務店
株式会社丸順
株式会社マルダイ
丸高コンクリート工業株式会社
丸平建設株式会社
株式会社丸万不動産
株式会社マルミ建設
株式会社まんだら舎
三谷商事株式会社岐阜支店
株式会社武芸川精工
株式会社メイショー
株式会社メーカケフ
株式会社メモリア
株式会社本巢畜産
森鉄工
森正男税理士事務所
森松工業株式会社

守谷工業
株式会社森脇工業
文殊丸五製瓦工場
安田株式会社本店
山口精機工業株式会社
山下登記測量事務所
山田農園
山村砕石株式会社
株式会社ユタカ電子製作所
株式会社横山製作所
有限会社吉田鉄工所
有限会社奇棟瓦工事店
株式会社ラフォンテ
株式会社ラボテック
有限会社理光物産
レシップ株式会社

個人会員(18会員)

宇野 哲夫
江口 真澄
岡部 勝
須須 雅夫
奥野 泉
斧田 巖
国枝 重一
倉知 常宣
神山 清司
小森 弘
榊原 建樹
島崎 馨
高崎 豊
坪井 務
新川 隆
橋浦 正史
堀 敏広
山田 清二

公共団体(27会員)

池田町
池田町商工会
揖斐川町
揖斐川町商工会
大垣市
大垣商工会議所
大野町
大野町商工会
各務原市
各務原商工会議所
北方町
北方町商工会
岐阜県
岐阜県金属工業団地協同組合
社団法人岐阜県経営者協会
社団法人岐阜県経済同友会
社団法人岐阜県工業会
財団法人岐阜県産業経済振興センター
岐阜市
岐阜商工会議所
国立大学法人岐阜大学
神戸町
神戸町商工会
瑞穂市
瑞穂市商工会
本巢市
本巢市商工会

岐阜高専と東濃信用金庫が 産学連携協定を締結

岐阜高専は、7月29日に東濃信用金庫と産学連携協定を締結しました。この締結により、岐阜高専は岐阜県内の金融機関との産学連携協定は6例目となります。

締結式には、東濃信用金庫からは市原理事長、林営業統括本部長、田牧営業統括部長、佐藤とうしん地域活力研究所所長が、岐阜高専からは榊原校長、臼井副校長（研究主事）、所地域技術開発・教育センター長が出席しました。

岐阜高専は、東濃地域における特許を含む知的財産の活用や技術力の向上を目指す企業、及びベンチャー企業に対して、ビジネスチャンスを提供できるように技術や人材育成を支援します。また、企業からのニーズと岐阜高専のシーズを有機的に結び付けるとともに、地域経済の活性化を目標として、東濃信用金庫の顧客企業と岐阜高専が情報交換などを随時行い、産学官のネットワークを構築する予定です。

岐阜高専地域連携協力会の ホームページ

本協力会のHPが出来ましたので、ご覧いただければ幸いです。

下記のURLからアクセス願います。

<http://www.gifu-nct.ac.jp/techno/chikirenkei/>

会員募集

岐阜高専地域連携協力会は、地元企業等と岐阜高専との連携及び地元企業等相互の交流を深めるとともに、同校の教育・研究に協力することを通して地域の産業並びに文化の振興を図り、もって地域社会の発展に寄与することを目的として平成19年12月に設立されました。

事業活動として、講演会・企業説明会・企業見学会・岐阜高専ラボ・ディスカバリー、交流会、人材育成事業及び技術相談・共同研究・受託研究等の促進を行っております。

つきましては、上記の事業活動にご理解、ご賛同

をいただき、皆様の今後の経営・業務及び地域連携への一助として、本協力会に是非ご入会くださいますようお願い申し上げます。

会費（年会費）

- ・企業・団体・法人会員 1口10,000円
- ・個人会員 1口 5,000円
- ・特別会員(地方公共団体及び公益法人等)免除。

入会をご希望の方は、岐阜高専地域連携協力会事務局へご連絡をお願い申し上げます。

編集後記

岐阜高専地域連携協力会は、会員皆様のご理解及びご支援により、会報第6号の発刊をすることができました。

今回の会報の特徴の一つとして、今まで杉山コーディネーターが窓口となり岐阜高専地域連携協力会員の皆様のニーズと、岐阜高専のシーズとのマッチングを行う技術相談や岐阜高専への要望をお聞きしてまいりましたが、22年度から産学官連携アドバイザーを配置して会員の皆様からの相談窓口を拡充したご報告を主に編集しました。

今回の会報で紹介させていただきました8名の産学官連携アドバイザーは、豊富な専門知識と経験に基づき対応しますので、お気軽に岐阜高専地域連携協力会事務局へご連絡いただきますようお願い申し上げます。

また、この会報が会員の皆様にとって有益な情報源となりますよう一生懸命に努力させていただきましたので、掲載記事についてご要望等がございましたら、岐阜高専地域連携協力会事務局へご連絡をお願い申し上げます。

末筆になりましたが、会員の皆様のますますのご繁栄を心よりお祈り申し上げます。

岐阜高専地域連携協力会事務局

〒501-0495

岐阜県本巣市上真桑2236-2

岐阜工業高等専門学校企画室研究協力係

tel.058-320-1213 fax.058-320-1220

e-mail: ken1@gifu-nct.ac.jp